



ハーモニータウン汐彩工事中



嫁来い観音・婿来い地蔵



復活した牛供養・花田植

第2回戦国尼子フェスティバル

平成4年 1992年	平成3年 1991年	平成2年 1990年	平成元年 1989年	元号 西暦
不燃ごみの処理施設・高尾クリーンセンター、クリーンセンター穂日島が稼働(安来) 比田「牛供養・花田植」が46年ぶりに復活(広瀬) ジョーホー・ひろせ開局(広瀬) 広瀬病院新館棟完成(広瀬) 「伯太太鼓」設立(伯太) 上の台緑の村開村(伯太) 中海の県境、市町境が確定(安来) 清水寺本堂の解体修理工事が完了(安来) 字波を震源とするM6.0の地震が発生(広瀬) 松江地方気象台観測以来の大型台風19号が直撃 広瀬町文化協会が発足(広瀬)	湾岸戦争勃発 ソ連崩壊 バブル経済崩壊 ▼「じゃあくりませんか・火砕流・紺ブレ・若貴」	安来能義郡衛生組合のし尿処理場改築 不燃物の四種類分別収集が始まる 山佐中学校校舎竣工(広瀬) 「嫁来い観音・婿来い地蔵」建立(広瀬) 近畿広瀬会設立総会開催(広瀬) 野だたら跡の調査(野だたらと椿の里整備事業)(広瀬) ▼オヤジギャル・バブル経済	花嫁花婿対策推進事業スタート(広瀬) 第1回尼子一族全国大集会(広瀬) 大韓民国慶尚南道の密陽市と姉妹都市縁組を結ぶ(安来) 広瀬社会福祉センター完成(広瀬) 株価の暴落始まる 東西ドイツ統一 ▼オバタリアン・セクハラ	市人口(12月末)国内外のできごと 49,346人 消費税開始(3%導入) ベルリンの壁が壊される ▼オバタリアン・セクハラ

※()内は旧市町名

※▼は各年の新語・流行語大賞受賞の主なもの

特集

やすぎ平成物語

5月1日、新元号が始まります。今回の特集では安来市の「平成」のできごとを振り返ってみました。



◀金屋子神話民俗館オープン。

▼第2回はくたチューリップ祭の様子。西日本最大級です。



▶平成4年に開村した上の台緑の村。



▶平成2年、韓国密陽市と姉妹都市を締結。



◀鉄の道文化圏の拠点となる和鋼博物館が平成5年にオープン。

▶第2回尼子一族集会の様子。





平成12年 2000年	平成11年 1999年	平成10年 1998年	平成9年 1997年	平成8年 1996年	平成7年 1995年	平成6年 1994年	平成5年 1993年
特別養護老人ホーム「伯寿の郷」竣工(伯太)	「SO14001」を認証取得(安来) ハーモニータウン汐彩分譲受付開始(安来)	「コテージやまびこ」オープン(広瀬) 伯太町役場・新庁舎完成(伯太) 特別養護老人ホーム「尼子苑」竣工式(広瀬)	安来道路開通(安来) 一般国道432号広瀬バイパス(広瀬町Ⅱ八雲村)開通(広瀬) 消防組合にはしご車を導入(安来)	「太陽とみどりの里」デイサービスセンターオープン(広瀬) 広瀬町立島根総合福祉専門学校が開校(広瀬)	大河ドラマ「毛利元就」放映開始(広瀬) 夢ランドしらさぎ開館(安来) 高齢者福祉センター「いきいきの郷はくた」完成(伯太) 布部保育所新園舎竣工(広瀬)	さぎの湯温泉新泉源を掘削(安来) 新広瀬町発足40周年記念式典を開催(広瀬) 道の駅「広瀬・富田城」オープン(広瀬) JA米飯加工センター完成(伯太) 第1回やすぎ刃物まつりを開催(安来)	和鋼博物館が開館(安来) 古代出雲王陵の丘、なぎさ公園竣工(安来) 安田老人福祉センター完成(伯太) 広瀬町農林漁業者等健康増進施設オープン 金屋子神話民俗館・野だたらと椿の里竣工(広瀬)
介護保険スタート 三宅島噴火		東海村JOC臨界事故	46,755人 長野オリンピック開催	▼失楽園(すく). たまごっち・ものけ(姫)	消費税が5%となる 長野新幹線開業	阪神淡路大震災(M7.3)発生 地下鉄サリン事件 アトラクタ五輪	48,107人 ▼Jリーグ・サポーター・「新・○○」



▲月山の麓で掘削した新温泉を活用して月山の湯・憩いの家がオープン。



▲広瀬町に開校した島根総合福祉専門学校の校舎。超高齢化社会に対応する福祉の専門化の養成が目的です。



▲伯太町新庁舎の様子。現在は伯太庁舎として利用。



▲夢ランドしらさぎがさぎの湯地区に開館。写真は水着で入るバーデゾンの様子。



▲大河ドラマ「毛利元就」の放送で月山富田城跡に注目が集まりました。写真は整備された花ノ壇。



ゲゲの女房役
松下奈緒さん来市



宇波地区の林野火災



赤屋保育所の新築



鳥取県西部地震が発生

平成 21 年 2009 年	平成 20 年	平成 19 年 2007 年	平成 18 年 2006 年	平成 17 年 2005 年	平成 16 年 2004 年	平成 15 年 2003 年	平成 14 年 2002 年	平成 12 年 2000 年
合併 5 周年記念式典開催 金屋子農道全線開通 地域振興券「あらえっさ振興券」発売	観光交流プラザ完成 鷹入の滝が環境省「平成の名水百選」に選定	4 中学校を統合し広瀬中学校が開校 産業サポーターネットやすぎ設立 合併 3 周年記念「市の花・木・鳥・魚」制定	豪雨により市内全域で甚大な被害 やすぎボランティア団体ネットワーク設立 社日小学校竣工 やすぎボランティア団体ネットワーク設立	第 1 回なかうみマラソン全国大会を開催 菅刈農道開通 やすぎ懐古館一風亭オープン 中海がラムサール条約内定	新設合併で新生安来市が誕生 NHK「のど自慢」公開放送（広瀬） 比田温泉湯田山荘改築工事竣工、新装オープン（広瀬）	ふれあいプラザ開館（安来） どじょう振興課新設。やすぎどじょう初出荷 （安来） 伯太大橋復旧工事竣工「渡初め式典」（伯太） ひろせ保育所の移転新築（広瀬）	ごみの 15 種類分別収集開始（安来） 安来市、広瀬町、伯太町の森林組合合併し まね東部森林組合発足 第 2 回尼子の里ひな祭り開催（広瀬） 文化学習施設「はくた文化学習館」開館（伯太） 伯太町合併 50 周年記念式典開催（伯太）	広瀬町健康福祉センター竣工（広瀬） 広域生活バス「イエローバス」運行開始 鳥取県西部地震発生
▼事業仕分け 民主党政権成立	43,503 人	▼そんなの関係 ねえ・どんだけえ く・猛暑日	世界一 ▼イナバウアー・ 品格	愛知万博開催 JR福知山線脱線 事故	▼チョー気持 ちいい・気合 だー！・サプラ イズ・○○斬 り！…残念！ 冬ソナ	▼なんでだろく・ マニフェスト 45,302 人	▼タマちゃん・ W杯（中津江村） ベッカム様 小泉首相が訪朝	▼聖域なき構造 改革・明日があ るさ・狂牛病



▲平成 19 年、新広瀬中学校が開校。
▼合併一周年記念、第九コンサート。



▲平成 21 年成人式、平成元年
生まれの新成人。
▼「平成の名水百選」鷹入の滝。



▶平成 16 年、合併協
定調印式。



▶平成 14 年、はくた文
化学習館が開館。



▶安来駅にオープン
した観光交流プラザ。





道の駅あらエッサオープン



第一中学校を新築



古事記編さん1300年を記念し
イザナミコンサート開催



東日本大震災に職員派遣

現在	平成30年 2018年	平成29年 2017年	平成28年 2016年	平成27年 2015年	平成26年 2014年	平成25年	平成24年 2012年	平成23年 2011年	平成22年 2010年
新元号発表。「平成31年」から「令和元年」へ	連続テレビ小説「わろてんか」に安来節が登場 第7回戦国尼子フェスティバル・第25回全国 山城サミット安来大会を開催 中海ふれあい公園が一部開園 通年議会が開会 県内初の試み	総合文化ホール「アルテピア」完成 NHKのど自慢を開催 連続テレビ小説「わろてんか」に安来節が登場 第7回戦国尼子フェスティバル・第25回全国 山城サミット安来大会を開催	大寒波襲来で市内に断水被害 中学3年生まで医療費無料化の対象を拡大 安来市給食センターの配食がスタート 「出雲國たたら風土記」鉄づくり千年が生んだ 物語」日本遺産に認定	安来市消防新庁舎竣工 安来市人口ビジョンおよび安来市まち・ひと・ しごと創生総合戦略を策定 認定こども園へ10施設を移行	安来市発足10周年記念式典を開催 安来市名誉市民を選定	60回記念自治会親善野球大会 集中豪雨の災害	第1回比婆山神話フェスティバイザナミ祭を開催 三日月公園ふれあい館オープン 足立美術館庭園が10年連続で日本一	台風12号で市内各地に被害 安来節保存会創立百周年記念式典を開催 プロロードバンド・インフラ整備事業竣工	安来市観光協会発足 連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」放送開始 年末年始の豪雪災害 ジョーホー・ひろせ定時放送終了 道の駅「あらエッサ」オープン 行政告知端末による放送開始。 どじよっこテレビ開局。
▼そだねー・半端ないって	▼インスタ映え・ 付度・35億・ひ ふみん・フェイ クニユース	熊本地震(M7.3)発生 ▼神ってる・聖地巡礼	▼爆買い・トリプルスリ・一億総活躍社会・五郎丸	▼カープ女子	消費税が8%となる	41,213人	▼ワイルドだろお 東京スカイツリー開業	▼なでしこジャパン・絆・どじよ内閣・3.11	▼ゲゲゲのく・イクメン・Kuro8 東日本大震災(M9.0)発生 九州新幹線開通



▲総合文化ホールアルテピアの開館
記念事業でのど自慢大会を開催。



◀平成22年末からの豪雪で市民生活に大きな影響が。

▼平成28年、たたら製鉄関連の文化財が日本遺産に認定。



▶平成25年7月、伯太で観測史上最大の降水量を記録。



▶平成26年、市の歌が完成。

▶全国山城サミット安来大会と戦国尼子フェスティバルを同時開催(平成30年)。



大きく発展を遂げた平成の安来。新たな時代も市民の皆さんが暮らしやすく、また、活気あふれるまちを目指します。そして、次世代にまちづくりのバトンを渡すことができますよう取り組みます。

